



「に」げずに
「し」んじて
「かん」しゃして
「き」ようりよくする



加古川市立西神吉小学校

学校通信

No. 164

～ 第3回学校運営協議会 ～

2月6日（金）、第3回学校運営協議会を実施し、本校児童、保護者、教職員による評価「学校自己評価」をもとに、学校運営協議会委員の皆様に関係者評価を行っていただきました。今年度の学校運営と教育活動に関して、委員の皆様から様々なご意見をいただきました。保護者の皆様にもアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。来年度に向けて、改善方策を検討し、具体的な取り組みに生かしていきます。



観点	今年度の成果と課題	自己評価	来年度に向けた改善の方策	関係者評価	
① 確かな学力	<ul style="list-style-type: none"> ○読書活動が充実できており、好きな児童が多い。 ○多様な子どもへの個別支援で、学ぶ意欲を持たせることができた。 ○基礎・基本の定着を図るとともに、伝える力を高めることができるよう「ことばの力」を伸ばすことに努めた。 △思考力や表現力にも課題がある。自主的な学習活動に発展しづらい、家庭学習に課題がある。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・図書ボランティアに頼らない、読書推進の具体的な取り組みを行う。 ・授業や朝の学習時間に、漢字プリントや計算プリントなど全般的な取り組みを行う。 ・「伝えたい」という意欲につながる学習場面の設定。「話す」「聞く」活動を十分に取り入れる。 ・複数の人との関わりを持ち、学習意欲を持たせたい。 ・生活・総合的な学習の時間を活用して学年を超えた取り組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ★「わかった、できた」や自らの学びと成長が実感できるよう、引き続き取り組んでもらいたい。 ★学力の向上は勿論、さらに学習することが楽しいと思える授業をしてほしい。 	A
②豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> ○多様性を認め、偏見差別を生まない人間関係づくりに努めており、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に関係機関と連携しながら取り組んでいるが、保護者の認識に乖離がある。 △コミュニケーション能力の育成が重要。自分の気持ちを相手に伝えられるような授業を設定する必要がある。 △教師の挨拶に返す児童はある程度いるが、返さない児童や進んで挨拶できない児童がいる。「ありがとう」「ごめんね」が素直に言えるようになってほしい。言葉遣いをもう一度見直す機会が必要。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感情を表現する言葉を使えるような取り組みを行う。 ・交流給食や児童集会他、様々な学年と交流できる機会を設定し、児童会活動の活性化を図る。 ・これまでの取り組みの継続、家庭への協力を呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ★挨拶は重要、保護者の協力も得ながら自分から挨拶ができる子を育ててほしい。 ★学年を超えた活動で挨拶ができたり、思いやりのある言葉かけができる子になってほしい。 	B
③健やかな体	<ul style="list-style-type: none"> ○ほけんだより、学校だよりなどで啓発されている。 ○△他の項目に比べてできている。課題は安全面・衛生面にある。 ○マラソン記録会などを通して、体力はついている。 ○休み時間に外で遊ぶ児童が多い。 △廊下を走る児童、不注意からけがをする児童、トイレの後で手を洗わない児童がいる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活習慣を身に付ける。 ・ルールの徹底・周知に努める。 ・委員会活動や学級指導等により、児童の安全や衛生に対する意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ★体力アップにつながる取り組みができている。 ★安全・衛生面での指導を継続してほしい。 	A
④安全、安心な学校	<ul style="list-style-type: none"> ○学校生活適応推進委員会により、生徒指導上の問題行動のある児童だけでなく、困り感のある児童についても情報共有することができた。 △登下校中に問題が起ったり、交通ルールが守られていないことがあった。 △ネットやゲームの利用時間が守られていない。ほかのきまりも含めてきまりを守らせるための方法が必要。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取り組みを継続すべきである。 ・一つずつ徹底できるように〇〇強化月間として設定し、委員会だけでなく全校児童が主体的に取り組むことができる行事などが設定できるとよい。 ・登下校の見守りを保護者や地域に依頼する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★保護者と連携しながら情報リテラシーを高めてほしい。（インターネットトラブル防止講座などは効果的である） ★職員全体で児童の情報を共有して困難な状況にも対応している。 	B
⑤開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ゲストティーチャーを積極的に招くことができた。 ○学校だよりやホームページで学校の様子が頻繁に発信されている。スクリレの活用。 △学校だより・ホームページなどで、学校の様子は共有している。しかし、ホームページや学校だよりが渡っていない家庭もあった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への発信、協同の更なる充実を図る。 ・スクリレやホームページのさらなる充実を目指す。 ・保護者が気軽に学校へきってもらえるような日を設定してもよい。（毎月1回の教育相談日の設定など） 	<ul style="list-style-type: none"> ★学校ボランティア等、地域人材の活躍の場がありよく工夫されている。 ★各行事で地域・保護者の意見を取り入れながら、工夫された取り組みができている。 	A